

第1章 日本で開催された国際コンベンションの動向

1	国際コンベンションの開催件数・参加者数・会議延日数の状況	3頁
2	月別国際コンベンションの開催状況 ①	4頁
3	月別国際コンベンションの開催状況 ②	5頁
4	部門別国際コンベンションの開催状況	6頁
5	規模別（参加者数別）国際コンベンションの開催状況 ①	7頁
6	規模別（参加者数別）国際コンベンションの開催状況 ②	8頁
7	都市別国際コンベンションの開催状況	9頁
8	会場別国際コンベンションの開催状況	10頁

本章をご利用いただくにあたって

本章では、JNTO が、各種コンベンションの主催者、コンベンション推進機関、会議場、PCO（会議運営会社）、大学・研究機関などのご協力を得て情報を収集し、そのデータを集計・分析したものです。日本で開催された国際コンベンションの概要を把握する上で唯一の指標となっており、また、本誌の集計は、以下の選定基準に基づいております。

国際コンベンションの選定基準

対象とするもの

- 参加者総数が 20 名以上で、かつ参加国が日本を含む 2 カ国以上の国際会議。
- または、参加者総数が 20 名以上で、かつ外国人参加者数が 10 名以上の国内会議。
- 上記 2 つの条件のいずれかを満たしているセミナー、シンポジウム等。

対象としないもの

- 私企業による企業内会議、大学などの研究機関が行う講義、投資の勧誘を目的とした投資セミナー、観光客誘致を目的とした観光セミナー、学習を目的とする研修会。

コンベンション参加者の取り扱い

- 外国人参加者数には、会議出席を目的に来日した会議代表、オブザーバー、同伴家族を含む。但し、プレス関係者、在日外国人は含めない。

コンベンション日数の取り扱い

- 会議日数には、前後の視察旅行、観光旅行を含めず、純粋な会議日数のみを計上している。

1

国際コンベンションの開催件数・参加者数・会議延日数の状況

— 開催件数及び外国人参加者数は増加 —

2006年に日本で開催された国際コンベンションの件数は、前年に比べ5.1%増、146件増の3,005件であり、また、国際コンベンションの参加者総数は、前年に比べ6.0%減、70,980人減の1,105,066人であった。そのうち外国人参加者数は、前年に比べ10.8%増、11,219人増の115,254人であった。これは、2006年の訪日外客数7,334,077人のうち、国際コンベンションの参加

者が、1.6%を占めたことを示している。

2006年の国際コンベンション1件あたりの平均開催日数は前年に比べ0.07日増の2.16日とであった。

過去10年間で国際コンベンションは38.9%増加、また外国人参加者数は49.6%増加しており、グローバル化に伴い国際コンベンションの重要性がますます高まっていることがうかがえる。

図1-1 国際コンベンションの開催件数(1997~2006年)

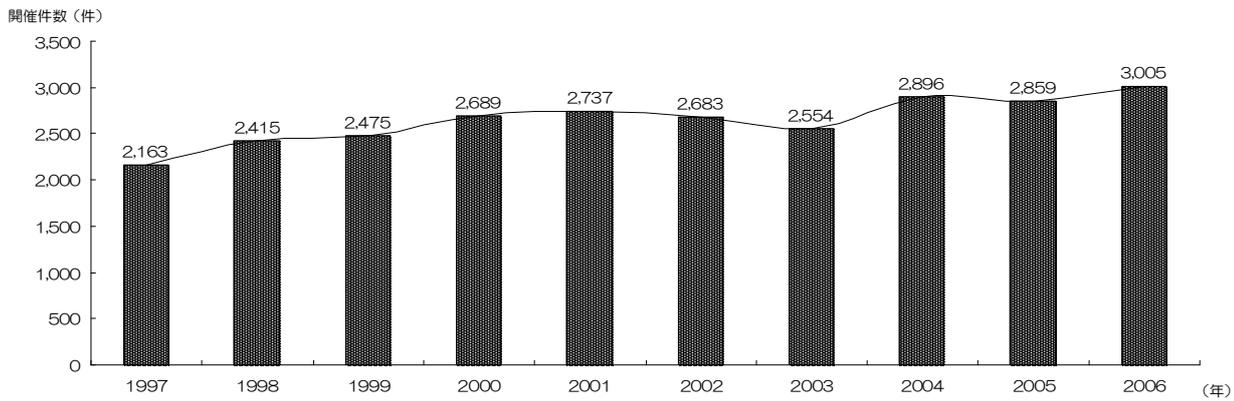


図1-2 国際コンベンションの参加者数(1997~2006年)

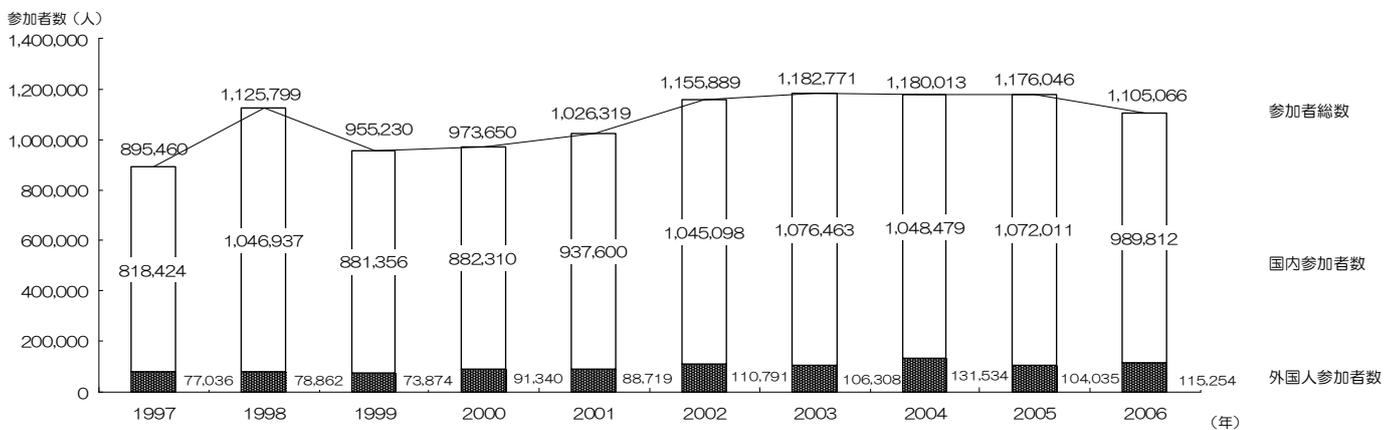
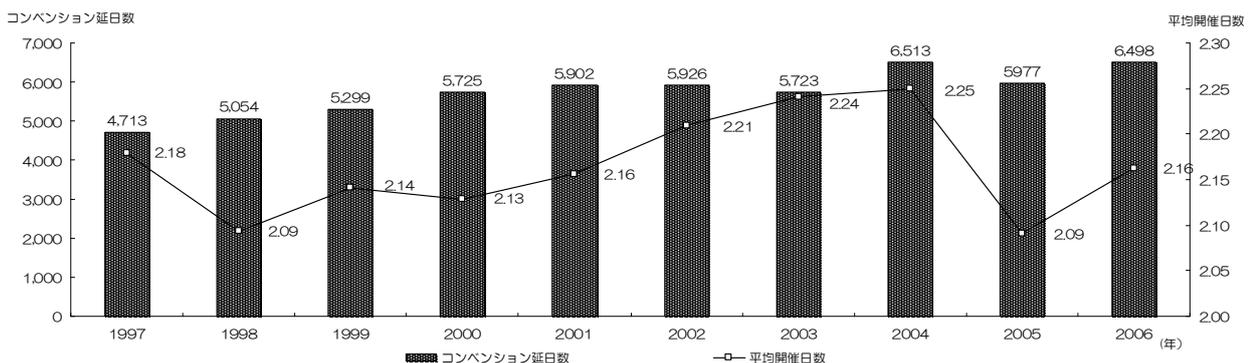


図1-3 国際コンベンションの開催延日数と平均開催日数(1997~2006年)



2

月別国際コンベンションの開催状況 ①

— 秋季に多数の国際コンベンションが開催 —

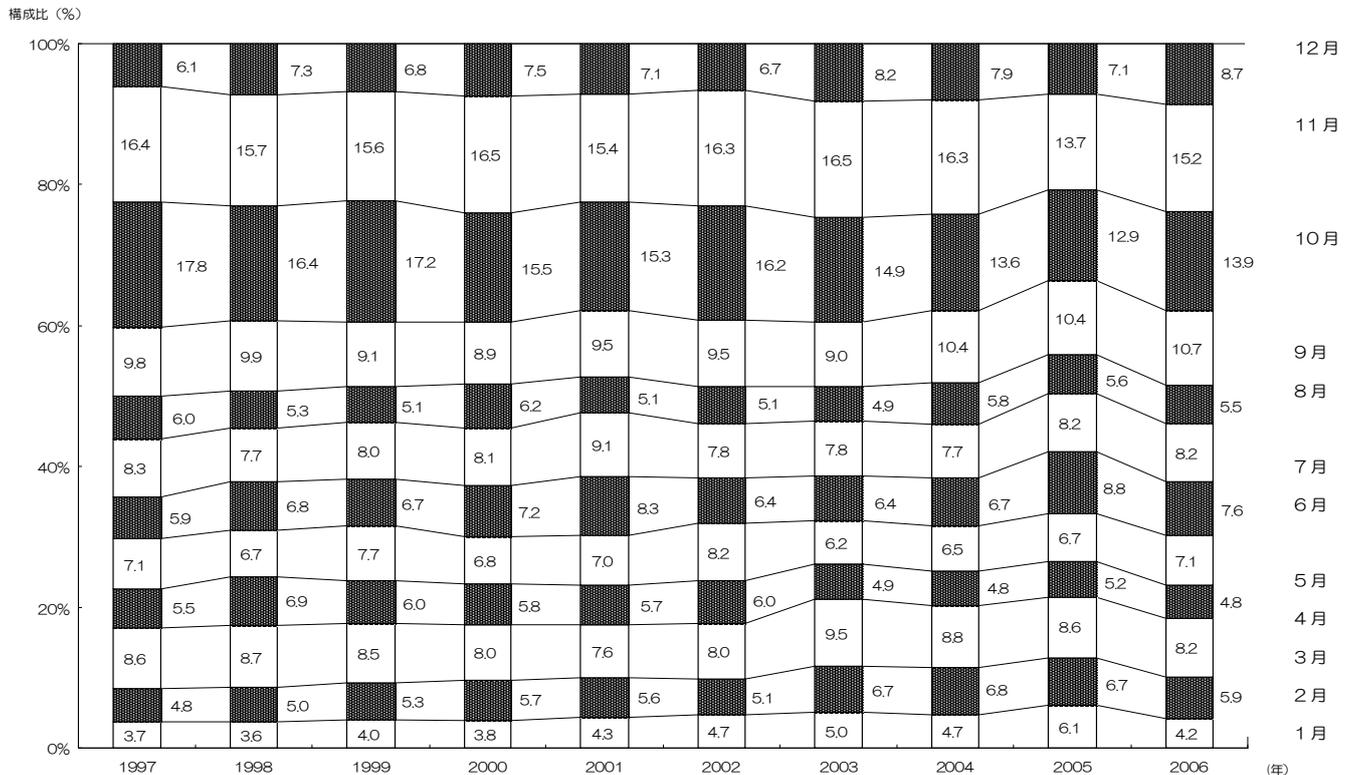
国際コンベンションは毎年、春・秋といった過ごしやすい気候の時期に開催が集中するが、2006年においては11月（455件、構成比15.2%）、10月（418件、同13.9%）9月（321件、同10.7%）

と、特に秋季開催の国際コンベンションが多いのが特徴である。一方、冬季・夏季にあたる1月（126件、同4.2%）8月（167件、同5.5%）などは比較的開催が少ない。

表1-1 月別国際コンベンションの開催件数（1997～2006年）

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
1月	80	88	99	103	119	126	128	137	173	126
2月	104	121	132	154	155	138	170	197	192	178
3月	185	211	210	215	208	214	244	254	246	247
4月	120	166	148	155	155	160	126	139	149	144
5月	154	163	191	183	191	220	158	188	192	212
6月	128	164	166	193	226	173	163	194	251	230
7月	179	187	199	218	249	208	200	224	234	246
8月	130	127	127	167	139	137	125	167	161	167
9月	212	238	224	238	260	255	229	300	298	321
10月	385	397	426	418	420	435	381	395	369	418
11月	354	378	385	444	421	438	421	472	392	455
12月	132	175	168	201	194	179	209	229	202	261
合計	2,163	2,415	2,475	2,689	2,737	2,683	2,554	2,896	2,859	3,005

図1-4 月別国際コンベンションの構成比（1997～2006年）



3

月別国際コンベンションの開催状況 ②

— 外国人参加者数・国内参加者数ともに10月が最も多い —

2006年の外国人参加者数を月別に見ると、10月が最も多く20,152人、次いで11月(16,330人)、7月(11,089人)であり、最も外国人参加者数が少ない2月(2,859人)と比べると、月によってかなりの差があることがわかる。

また、国内参加者数についても10月が最も多く152,022人、次いで11月(129,384人)、9月(126,055人)であった。

表1-2 月別国際コンベンションの外国人参加者数(1997~2006年)

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
1月	2,070	1,441	1,211	2,036	1,936	3,648	3,835	2,404	3,419	3,337
2月	1,430	2,879	2,412	3,955	2,051	3,490	3,609	3,900	3,264	2,859
3月	4,027	4,218	4,684	3,642	5,099	5,801	12,357	6,593	5,279	5,671
4月	6,069	9,514	4,741	6,234	6,575	6,787	3,608	8,521	10,163	4,581
5月	8,529	5,206	7,131	8,048	5,484	10,286	5,335	29,304	9,699	9,042
6月	4,756	3,930	4,398	5,595	6,801	3,804	10,747	8,293	6,966	9,906
7月	5,028	6,581	5,730	12,173	9,936	17,340	8,506	10,751	13,734	11,089
8月	7,345	6,342	6,592	4,792	5,834	10,756	4,351	8,065	6,555	9,270
9月	7,902	8,255	7,136	9,418	9,964	11,203	11,994	10,808	13,874	15,241
10月	13,158	13,191	15,730	16,598	12,869	20,194	24,356	17,038	15,271	20,152
11月	10,579	13,325	9,935	13,632	16,728	12,399	11,856	17,505	10,818	16,330
12月	6,143	3,980	4,174	5,217	5,442	5,083	5,754	8,352	4,993	7,776
合計	77,036	78,862	73,874	91,340	88,719	110,791	106,308	131,534	104,035	115,254

表1-3 月別国際コンベンションの国内参加者数(1997~2006年)

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
1月	48,941	22,277	14,892	16,385	29,180	23,419	36,540	34,192	48,679	23,939
2月	28,977	34,390	37,427	46,545	29,567	46,622	62,056	40,260	36,487	35,577
3月	43,409	49,977	92,938	64,334	62,815	81,982	84,744	78,904	107,175	84,547
4月	68,809	111,452	67,323	93,398	79,762	82,529	90,457	84,566	87,131	49,312
5月	70,443	107,653	82,994	70,303	65,902	89,222	86,147	117,516	80,201	85,010
6月	40,388	62,569	55,256	81,864	80,975	77,336	68,244	86,091	103,996	78,197
7月	51,041	64,653	61,743	52,016	56,485	117,846	65,230	64,621	87,639	88,061
8月	60,545	48,281	50,303	57,435	64,752	66,198	65,033	54,058	68,893	81,365
9月	65,042	139,152	94,718	76,352	97,280	86,152	80,767	102,653	129,193	126,055
10月	157,799	176,799	155,603	154,675	184,380	193,070	243,988	188,098	147,057	152,022
11月	141,398	145,845	128,416	120,682	127,937	130,633	138,148	149,107	113,486	129,384
12月	41,632	83,889	39,743	48,321	58,565	50,089	55,109	48,413	62,074	56,343
合計	818,424	1,046,937	881,356	882,310	937,600	1,045,098	1,076,463	1,048,479	1,072,011	989,812

4

部門別国際コンベンションの開催状況

— 「政治・経済・法律」の部門が増加 —

2006年の国際コンベンションの開催状況を部門別に見ると、最も多いのは「科学・技術・自然」の1,206件（構成比40.1%）、次いで「芸術・文化・教育」の514件（同17.1%）、「政治・経済・法律」の482件（同16.0%）、「医学」の412件（同13.7%）、「産業」の122件（同4.1%）であった。「科学・技術・自然」が全体の4割を占めていることから、日本のこの部門の学術レベルの高さがうかがえる。また、「芸術・文化・教育」、「政治・経済・法律」の部門では、数多くのシンポジウムが開催されており、全体

の開催件数を上げる要因ともなっている。特に2006年は「政治・経済・法律」の国際コンベンション開催件数が前年度に比べ100件以上増加していることが特徴的である。

外国人参加者数を部門別に見ると、「科学・技術・自然」が最も多く52,500人であり、次いで「医学」の25,173人である。「医学」部門は個々のコンベンションが大規模なものが多く、そのため外国人参加者数が多くなっている。

表1-4 部門別国際コンベンションの開催件数（1997～2006年）と外国人参加者数（2006年）

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2006年外国人参加者数
政治・経済・法律	324	342	460	412	431	455	401	558	360	482	10,343
科学・技術・自然	628	691	737	795	833	926	973	1,088	1,161	1,206	52,500
医学	284	390	355	446	413	367	347	432	348	412	25,173
産業	136	154	111	173	155	163	142	136	158	122	6,581
芸術・文化・教育	267	301	359	391	358	340	341	327	424	514	10,458
社会	218	248	224	197	172	185	158	139	242	113	1,524
運輸・観光	29	32	37	42	25	28	19	40	28	23	2,069
社交・親善	130	78	128	116	125	76	45	27	56	56	2,935
宗教	10	9	8	9	9	11	14	19	14	13	215
スポーツ	9	16	4	11	22	20	6	16	15	9	852
その他	128	154	52	97	194	112	108	114	53	55	2,604
合計	2,163	2,415	2,475	2,689	2,737	2,683	2,554	2,896	2,859	3,005	115,254

表1-5 部門別国際コンベンションの構成比（1997～2006年）

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
政治・経済・法律	15.0	14.1	18.6	15.3	15.7	17.0	15.7	19.3	12.6	16.0
科学・技術・自然	29.0	28.6	29.8	29.6	30.4	34.5	38.1	37.6	40.6	40.1
医学	13.1	16.1	14.3	16.6	15.1	13.7	13.6	14.9	12.2	13.7
産業	6.3	6.4	4.5	6.4	5.7	6.1	5.6	4.7	5.5	4.1
芸術・文化・教育	12.4	12.5	14.5	14.5	13.1	12.7	13.4	11.3	14.8	17.1
社会	10.1	10.3	9.1	7.3	6.3	6.9	6.2	4.8	8.5	3.8
運輸・観光	1.3	1.3	1.5	1.6	0.9	1.0	0.7	1.4	1.0	0.8
社交・親善	6.0	3.2	5.2	4.3	4.6	2.8	1.8	0.9	2.0	1.9
宗教	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.4	0.5	0.7	0.5	0.4
スポーツ	0.4	0.7	0.2	0.5	0.8	0.7	0.2	0.6	0.5	0.3
その他	5.9	6.4	2.0	3.6	7.1	4.2	4.2	3.8	1.8	1.8

5

規模別（参加者数別）国際コンベンションの開催状況 ①

— 300人未満の国際コンベンションが全体の74.4%を占める —

2006年の国際コンベンションの開催件数を規模別（参加者数別）に見ると、100人未満が1,210件（構成比40.3%）と最も多かった。以下、100～199人が661件（同22.0%）、200～299人が365件（同12.1%）、300～399人が206件（同6.9%）であった。

過去10年で見て100人未満の構成比が1997年に比べ2006

年は4.7%増加しており、さらに2006年においては300人未満の国際コンベンションが全体の74.4%を占めており、小規模コンベンションが頻りに開催されていることがわかる。

「国際コンベンション1件」あたりの平均外国人参加者数を見ると、ばらつきはあるものの、おおよそどの規模の国際コンベンションでも総参加者数の1割程度を外国人参加者が占めていることがわかる。

表1-6 規模別（参加者数別）国際コンベンションの開催件数（1997～2006年）と平均外国人参加者数（2006年）

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2006年「国際コンベンション1件」あたりの平均外国人参加者数
100人未満	769	894	1,031	1,036	1,048	925	873	1,102	1,100	1,210	10.6
100～199人	489	485	503	606	627	632	670	651	636	661	22.8
200～299人	275	295	293	337	322	368	330	345	353	365	36.7
300～399人	178	202	179	177	215	206	182	190	195	206	55.0
400～499人	107	97	96	109	107	115	90	124	104	103	49.5
500～599人	80	95	79	106	83	80	64	94	81	90	68.9
600～699人	48	59	41	49	43	47	57	63	43	62	91.8
700～799人	35	28	24	28	48	41	17	37	34	37	112.0
800～899人	20	34	30	25	28	23	33	41	40	33	89.9
900～999人	11	14	14	14	15	11	20	19	25	19	115.4
1,000～1,099人	16	37	34	33	31	43	40	33	55	48	142.1
1,100～1,199人	12	10	5	10	4	15	8	12	11	6	65.0
1,200～1,299人	14	12	13	17	17	15	17	21	19	17	103.1
1,300～1,399人	5	11	4	11	10	11	15	7	7	5	46.2
1,400～1,499人	5	3	4	6	7	7	4	13	5	6	25.7
1,500～1,599人	12	24	17	25	18	18	13	18	16	10	157.3
1,600～1,699人	4	6	7	2	3	5	5	6	13	7	183.4
1,700～1,799人	4	0	3	5	5	5	4	3	6	2	13.5
1,800～1,899人	1	4	1	7	3	4	2	5	6	7	76.3
1,900～1,999人	2	2	6	1	4	1	4	3	1	2	697.5
2,000人以上	76	103	91	85	99	111	106	109	109	109	203.6
合計	2,163	2,415	2,475	2,689	2,737	2,683	2,554	2,896	2,859	3,005	38.4

表1-7 規模別（参加者数別）国際コンベンションの構成比（1997～2006年）

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
100人未満	35.6	37.0	41.7	38.5	38.3	34.5	34.2	38.1	38.5	40.3
100～199人	22.6	20.1	20.3	22.5	22.9	23.6	26.2	22.5	22.2	22.0
200～299人	12.7	12.2	11.8	12.5	11.8	13.7	12.9	11.9	12.3	12.1
300～399人	8.2	8.4	7.2	6.6	7.9	7.7	7.1	6.6	6.8	6.9
400～499人	4.9	4.0	3.9	4.1	3.9	4.3	3.5	4.3	3.6	3.4
500～599人	3.7	3.9	3.2	3.9	3.0	2.9	2.5	3.2	2.8	3.0
600～699人	2.2	2.4	1.6	1.9	1.6	1.8	2.2	2.2	1.5	2.1
700～799人	1.6	1.2	1.0	1.0	1.8	1.5	0.7	1.3	1.2	1.2
800～899人	0.9	1.4	1.2	0.9	1.0	0.9	1.3	1.4	1.4	1.1
900～999人	0.5	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.8	0.7	0.9	0.6
1,000～1,099人	0.7	1.5	1.4	1.2	1.1	1.5	1.5	1.1	1.9	1.6
1,100～1,199人	0.6	0.4	0.2	0.4	0.1	0.5	0.3	0.4	0.4	0.2
1,200～1,299人	0.7	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.7	0.7	0.7	0.6
1,300～1,399人	0.2	0.5	0.2	0.4	0.4	0.4	0.6	0.2	0.2	0.2
1,400～1,499人	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.4	0.2	0.2
1,500～1,599人	0.6	1.0	0.7	0.9	0.7	0.7	0.4	0.6	0.6	0.3
1,600～1,699人	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.5	0.2
1,700～1,799人	0.2	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1
1,800～1,899人	0.1	0.2	0.1	0.3	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2
1,900～1,999人	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1
2,000人以上	3.5	4.3	3.7	3.2	3.6	4.1	4.2	3.8	3.8	3.6

6

規模別（参加者数別）国際コンベンションの開催状況 ②

— 中・大型国際コンベンションの推移 前年に比べ32件増 —

2006年の国際コンベンションを参加者総数が300人以上、そのうち外国人参加者数が50人以上を占める「中・大型国際コンベンション」で見ると、開催件数は前年より32件増の316件であった。また、外国人参加者数も、前年より5,894人増の66,875人であ

った。例年、中・大型国際コンベンションが全体のコンベンション開催件数に占める割合は約10%である。

なお、中・大型国際コンベンションの各都市での開催件数については「資料編2」をご参照いただきたい。

図1-5 国際コンベンションの開催件数と中・大型国際コンベンションの開催件数の推移（1997～2006年）

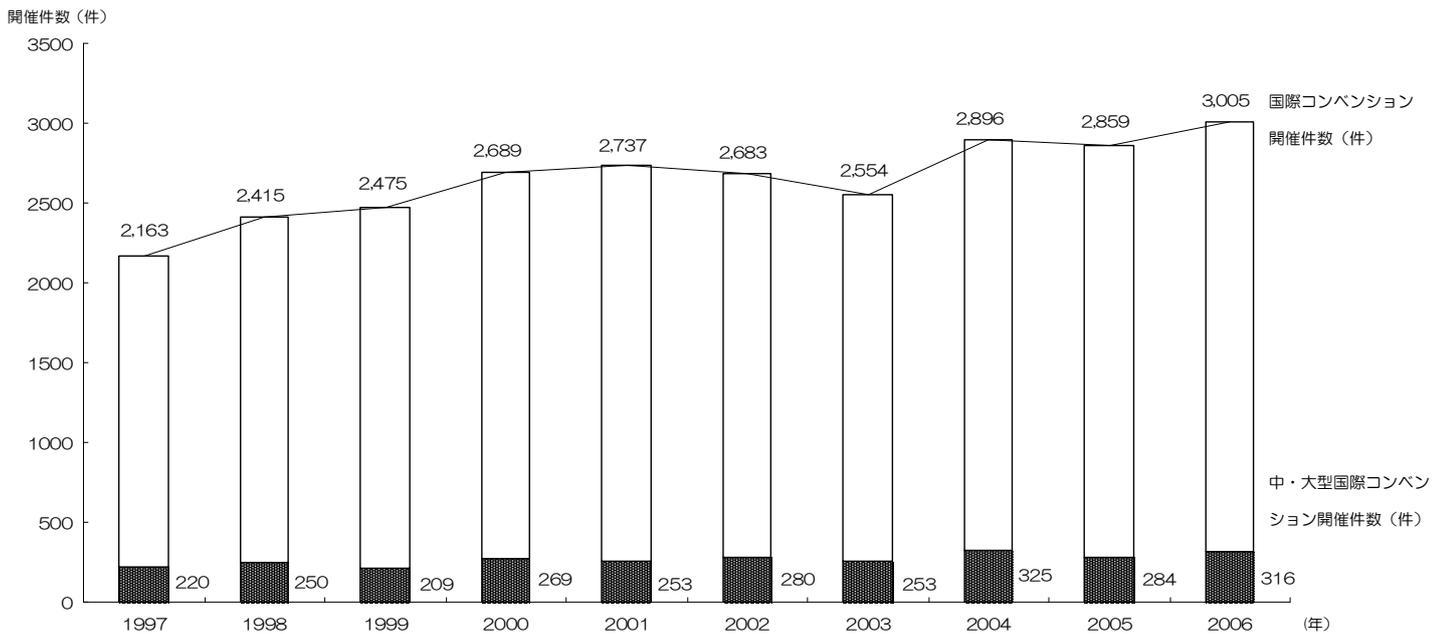
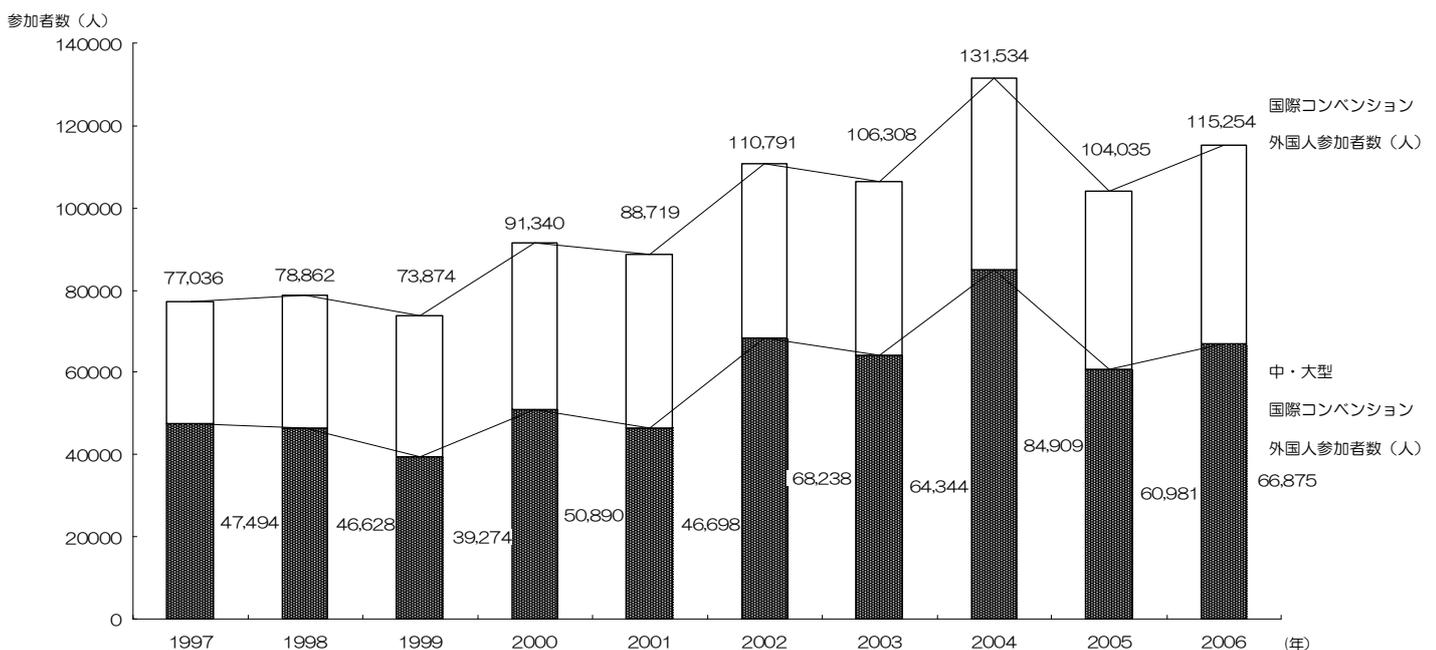


図1-6 国際コンベンション外国人参加者数と中・大型国際コンベンションの外国人参加者数の推移（1997～2006年）



7

都市別国際コンベンションの開催状況

— 福岡市での開催件数が大幅増 —

2006年の国際コンベンションの開催件数を都市別に見ると、東京（23区）が744件で最も多く、次いで京都市（277件）、福岡市（274件）、大阪市（237件）、名古屋市（194件）であった。福岡市では、九州大学をはじめとした福岡市内の大学で国際コンベンションが多数開催され、前年に比べ94件の増加であり、京都市も53件の増加であった。大阪市は、市内での開催は12件減少したものの、大阪大学が所在する千里地区での開催件数が19件増加してお

り、大阪府全体としては増加傾向となっている。一方、名古屋市は、愛知万博の影響で2005年は開催件数が大幅増となったが、2006年はほぼ2004年の水準に落ち着いた。

下記（表1-8）には上位15都市の開催件数を記載しているが、その他の都市の開催件数等については巻末の「資料編1」をご参照いただきたい。

表1-8 都市別国際コンベンションの開催件数（1997年～2006年：上位15都市を抜粋）

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
東京（23区）	344	436	603	705	759	793	715	733	742	744
京都市	195	198	181	190	192	209	222	224	224	277
福岡市	188	191	199	163	147	150	160	178	180	274
大阪市	197	224	222	224	230	192	148	254	249	237
名古屋市	196	194	195	200	194	167	193	193	236	194
神戸市	170	213	178	195	207	205	168	172	177	183
横浜市	100	121	107	96	105	130	148	156	159	162
千里地区（注1）	90	115	99	81	113	119	62	130	127	146
札幌市	84	95	112	107	96	71	87	92	99	127
つくば地区（注2）	28	38	53	88	88	80	90	78	88	94
仙台市	56	38	43	63	56	53	45	54	54	64
千葉市	51	63	40	39	26	20	40	76	66	56
北九州市	65	68	71	72	69	43	34	37	24	36
淡路市	0	0	0	37	36	39	49	51	42	35
奈良市	16	16	15	19	32	22	27	33	35	32

注1：「千里地区」とは、豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、箕面市を指す

注2：「つくば地区」とは、つくば市、土浦市を指す。

注：1つの会議が複数の都市にまたがって開催された場合、それぞれの都市に1件として計上しているため、都市別の開催件数の合計は、実際の開催件数よりも多くなっている。

会場別国際コンベンションの開催状況

— 上位10会場のうち、6会場を大学が占める —

2006年に日本で開催された国際コンベンションを会場別に見ると、最も多いのは大阪大学の102件、次いで経団連会館（98件）、東京大学（98件）、京都大学（96件）、九州大学（87件）、北海道大学（87件）、パシフィコ横浜（69件）、名古屋大学（61件）、大阪国際会議場（54件）、つくば国際会議場（48件）、であり、上位10会場のうち、6会場を大学が占めている。

また、参加者総数で見ると、最も多いのがパシフィコ横浜の

81,965人、以下、東京国際フォーラム（74,531人）、国立京都国際会館（50,047人）、大阪国際会議場（47,469人）、福岡国際会議場（45,301人）であった。

また、外国人参加者数は、最も多いのが国立京都国際会館で9,904人、次いでパシフィコ横浜（8,688人）、福岡国際会議場（5,855人）、東京国際フォーラム（4,420人）、大阪国際会議場（3,905人）であった。

表1-9 会場別国際コンベンションの開催状況（2006年）

会場名	開催件数	外国人参加者数	国内参加者数	参加者総数
大阪大学	102	1,411	11,356	12,767
経団連会館	98	1,322	18,269	19,591
東京大学	98	1,652	16,643	18,295
京都大学	96	2,690	15,993	18,683
九州大学	87	1,495	11,139	12,634
北海道大学	87	943	10,290	11,233
パシフィコ横浜	69	8,688	73,277	81,965
名古屋大学	61	1,206	7,450	8,656
大阪国際会議場（グランキューブ大阪）	54	3,905	43,564	47,469
つくば国際会議場	48	1,931	9,222	11,153
神戸大学	40	425	2,930	3,355
神戸国際会議場	39	2,782	16,485	19,267
東京国際フォーラム	38	4,420	70,111	74,531
理化学研究所(神戸)	35	78	1,260	1,338
早稲田大学	35	1,688	7,225	8,913
淡路夢舞台国際会議場	35	998	2,951	3,949
関西大学	34	170	6,543	6,713
大阪市立大学	34	551	7,753	8,304
東京ビッグサイト	34	2,107	20,449	22,556
国立京都国際会館	33	9,904	40,143	50,047
福岡国際会議場	32	5,855	39,446	45,301
仙台国際センター	28	955	27,036	27,991
同志社大学	28	158	2,305	2,463
アクロス福岡	27	428	6,539	6,967
名古屋国際会議場	27	2,823	38,303	41,126
立命館大学	23	257	2,028	2,285
専修メッセ	22	1,767	11,217	12,984
国連大学	21	454	3,956	4,410
三田共用会議所	21	948	2,111	3,059
グランドプリンスホテル赤坂（旧赤坂プリンスホテル）	19	801	3,039	3,840
大阪府立大学	19	103	2,896	2,999
九州日仏学館	18	326	1,554	1,880
慶應義塾大学	18	530	1,986	2,516
国際文化会館	18	206	1,673	1,879
千葉大学	18	243	6,620	6,863
南山大学	18	200	1,780	1,980
大阪国際交流センター	17	856	6,282	7,138
日仏会館	17	235	775	1,010
奈良県新公会堂	16	913	3,490	4,403
京都リサーチパーク	15	635	1,713	2,348
筑波大学	15	323	4,219	4,542
北九州国際会議場	15	1,482	14,249	15,731
京都テルサ	14	1,081	4,732	5,813
熊本大学	14	337	5,445	5,782
湘南国際村センター	14	488	641	1,129
神戸ポートピアホテル	14	1,432	11,593	13,025
日本科学未来館	14	269	4,112	4,381
キャンパスプラザ京都	13	82	1,126	1,208
沖縄コンベンションセンター	13	567	10,422	10,989
産業技術総合研究所	13	449	2,837	3,286
京王プラザホテル	12	891	5,808	6,699
秋葉原コンベンションホール	12	603	2,440	3,043
上智大学	12	134	1,502	1,636
東京国際交流館	12	269	2,932	3,201
大阪府立女性総合センター（ドーンセンター）	11	27	1,089	1,116
横浜シンポジア	10	202	1,598	1,800
関西経済連合会	10	93	475	568
神奈川大学	10	130	1,959	2,089

注1：本表では、複数会場を利用して開かれた同一会議は、会場をベースに集計してある。

注2：本表では大学等の附属施設は大学での開催件数に含めている。